

独立行政法人日本スポーツ振興センター契約監視委員会議事概要

開催日及び場所	平成27年1月20日(火) 独立行政法人日本スポーツ振興センター 特別会議室	
委員	委員長 清水 幹裕(弁護士) 委員 青山 伸一(公認会計士) 委員 野川 春夫(監事)	
審議対象期間	平成26年4月1日～平成26年11月30日	
審議案件(合計)	21件	(備考) 契約案件121件から21件を抽出し、審議を行った。 抽出案件について説明を行い、各委員の質問等への回答を行った。
役務(小計)	11件	
競争性のない随意契約	4件	
一者応札・一者応募	4件	
複数者応札	3件	
工事(小計)	10件	
競争性のない随意契約	1件	
一者応札・一者応募	6件	
複数者応札	3件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回 答
	別添のとおり	別添のとおり

委員からの意見・質問、それに対する回答

意見・質問	回答
一者応札・一者応募（役務）	
<ul style="list-style-type: none"> システム関連の契約は、積算の確認をきちんと行っているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 専門的な知見のある職員を関わらせている。
複数者応札（役務）	
<ul style="list-style-type: none"> 記録撮影業務の委託は、競争を行ったのに、落札率が100%となったのは何故か。 	<ul style="list-style-type: none"> 本件は、内容的に総合評価の実施は妥当ではないと判断し、企画競争を実施して業者を選定の上、予算の上限額で契約を行ったためである。
複数者応札（工事）	
<ul style="list-style-type: none"> 設計業務において、品質や価格の適正性は何で判断するのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 金額の大きい案件は、プロポーザル方式で業者を選定することにより、品質を確保している。
審議結果	
<ul style="list-style-type: none"> 2年連続で一者応札・一者応募となっている案件については、仕様の緩和や発注方法について工夫すること。 設計業務や企画競争の予定価格の積算方法について考慮すること。 基本契約に基づく個別の随意契約については、多発しないよう検討すること。 IT関連の契約は、専門知識がある第三者の意見を取り入れるよう検討すること。 	